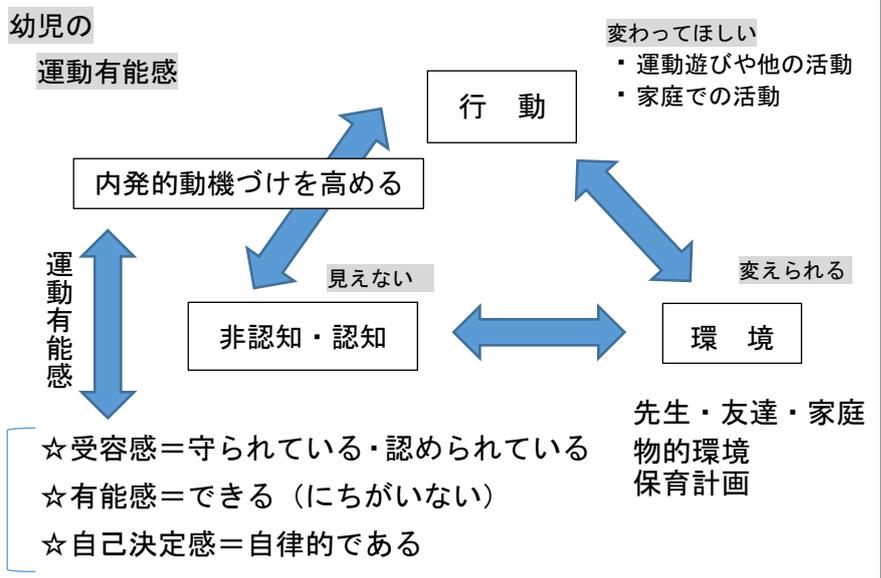


講演 「運動遊びと他領域とのドッキング遊び」

講師 帝塚山大学 教授 岡澤 哲子氏

広義の「遊び」＝「生きること」
 「遊びを通して」というが…遊び
 以外のもの置き換えられない。
遊びそのものが生きること
 ★高い遊び能力を持つ人間を育て
 ることは重要な教育の目的！



幼児期は様々な運動パターンがある遊び
 が適している！

基礎的運動パターン
 (移動運動・姿勢制御運動・操作運動)
 ＋
 空間的制御 (位置・方向)
 時間的制御 (順序・タイミング)
 力量的制御 (力の強さ)

保育を探究する面白さと出会うには
 保育者も内発的動機づけで保育する。
 (保育そのものが楽しい！)

幼児の運動有能感の特徴

見えないものが形成される (非認知)

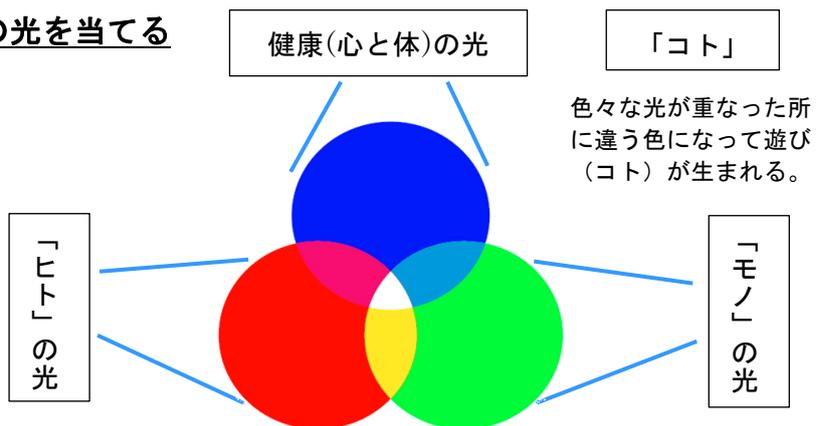
運動有能感＝受容感＋有能感

受容的な応答・具体的にほめる褒める
 認める・励ます
 共感する・受け入れる
 内発的動機づけを高めます。

保育を探究する面白さ！

保育とは…子ども達に「光」をあてて色々な色の光で光れるように応援する営みです。遊びという真っ白な光の中で3つの色に近づいたり離れたりしながら気づき、試し、驚く。そして、今日はどんな色を見つけるのかな？どういう風に見つけるのかなと想像する！交じり合うのも楽しみ！それが**保育の醍醐味**です！
 (岡澤先生より)

領域の光を当てる



ドッキング遊び

☆アイスブレイキング



背中合わせになり、「以心伝心」
2手拍子で振り返る。おなじ一方向から見ると OK!

☆シンクロナイズドスキップ



楽器のリズムに合わせてスキップ。
2人→4人→8人と増やす。
ポイントは息を合わせてスキップする事。

☆ともだちトンネル



山型になりそのトンネルを友達
が通る。全員したら終了。ポイント
は友達の事を思いやる!

☆4人縄跳び

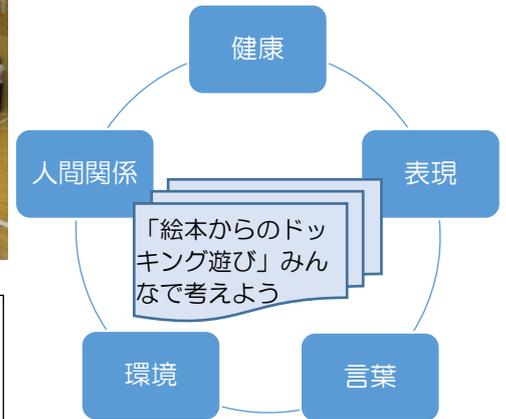


自分の縄と友達の縄の端を片方ずつ持ち自分が跳んでいる気持ちで縄を回す。リズムが自然と合ってきます。

☆ニコニコサーキット



両端からフープや、マットなどを
超えてきて、真ん中で出会ったら
ニコリや変顔でご対面!



絵本『しっぽ・しっぽ・しっぽっぽ』

<受講者の感想>



岡澤先生に絵本を読んで頂いた後
「もし、しっぽが長かったら、どう
やって遊びますか?」の問いかけに
4人グループで色々な遊びの案を
出しあいました。



★光の三原色のように青、赤、黄の合わさった白の部分に、子ども達はどのように発見したのか焦点を当てていく、子どもが発見した遊びが大事であると感じました。

★スキップや縄跳び等、一人をするのではなく相手と合わせる心地よさや達成感が味わえ、内発的動機づけが高まると思った。まずは、保育者が楽しんで保育を毎日行っていきたいです。明日の保育に活かせる内容を教えてもらい有難うございました。